

保護者様

横浜市立つつじが丘小学校
校長 岩澤 尚彦

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月18日に全国の小学校6年生を対象に実施した「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 今年度の教科に関する調査結果

【国語】

分類	区分	平均正答率 (%)			
		つつじが丘小	神奈川県	全国	
全体		73.0	66.0	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	75.8	70.1	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	69.2	64.3	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、判断力、表現力	A 話すこと・聞くこと	77.9	70.4	72.6
		B 書くこと	30.2	25.6	26.7
		C 読むこと	81.0	70.4	71.2
評価の観点	知識・技能	73.9	68.5	68.9	
	思考・判断・表現	72.4	64.0	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度				

【算数】

分類	区分	平均正答率 (%)		
		つつじが丘小	神奈川県	全国
全体		74.0	63.0	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	80.4	67.1	67.3
	B 図形	60.8	50.0	48.2
	C 測定			
	D 変化と関係	82.3	72.3	70.9
	E データの活用	74.8	65.2	65.5
評価の観点	知識・技能	79.3	67.8	67.2
	思考・判断・表現	67.8	57.2	56.5
	主体的に学習に取り組む態度			

2教科とも全国、神奈川県の前年調査結果を上回る結果となりました。評価の観点ごとに見ても、全てにおいて平均正答率を上回っていました。本校の児童が、知識及び技能、思考力、判断力、表現力ともに高い水準にあることが分かりました。次に示すのは、全国、神奈川県と比較して特によくできた内容です。

【国語】

- ◎「話すこと・聞くこと」：(インタビューの様子から)話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる。
- ◎「読むこと」：目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。

【算数】

- ◎「数と計算」：加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。
- ◎「変化と関係」：百分率で表された基準量と比較量から、正しい割合を選ぶことができる。
- ◎「データの活用」：「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。

2 今後の取組

【国語】

- ・「読むこと」については、文章から必要な情報を見付けたり、要約したりすることについて、平均正答率が高かった。
⇒今後も引き続き読解力を高める指導や、読書活動を推進していく。
- ・「書くこと」の平均正答率が、全国、神奈川県と同様、低い傾向が見られた。
⇒相手意識、目的意識をもって取り組めるような指導の工夫をするとともに、図表やグラフなどを効果的に表現として用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できるようにしていく。

【算数】

- ・「数と計算」「変化と関係」における平均正答率が高かった。
⇒引き続き、場面を解釈したり、根拠を明確に筋道立てて考察していく指導を充実させていく。
- ・「図形」については全国、神奈川県と同様、低い傾向が見られた。
⇒単に公式を暗記するだけでなく、その意味を、図形のもつ性質と関連付けて理解していく必要がある。
当該の学年だけでなく、低学年から図形の性質を見いだす経験を丁寧に扱っていく。

3 質問紙調査結果

今回の調査では、学力の調査と合わせて、生活面や学習面の意識調査も行われました。結果を全体的に見ると、どの設問に対しても肯定的な回答が多く見られました。その中で、全国、神奈川県と比べて、特徴的だった結果をお知らせします。

- ◎家庭学習の時間や読書時間が長い。
- ◎地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童が多い。
- ◎授業で学んだことを他の学習で生かしていると回答した児童が多い。
- ◎総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動に取り組んでいる児童が多い。
- ◎調査対象教科（2科）全てにおいて、好きであり、大切であると感じている児童が多い。
- △地域の行事に参加していると感じている児童が少ない。
- △新聞を読んでいる児童は、全国、神奈川県と比べては割合が多いが、高くはない。

4 まとめ

今回の全国学力・学習状況調査の結果から、本校の児童は、全体的に学習に前向きに取り組んでおり、学力も高いということが分かりました。全国や神奈川県と比較することで課題点も見えたので、今後の授業改善にいかしていきます。また、同時期に行われた横浜市学力・学習状況調査の結果を今後分析したり、目の前の児童としっかり向き合ったりすることで実態を把握し、教育課程の計画・実施・評価・改善を繰り返し、子どもたちが安心して伸び伸びと学習したり、自分に自信をもち、夢や目標をもって生活したりすることができるように、学校全体で指導、支援していきます。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

このお知らせは、本校の学校ホームページにも掲載しておりますので、ご確認ください。